

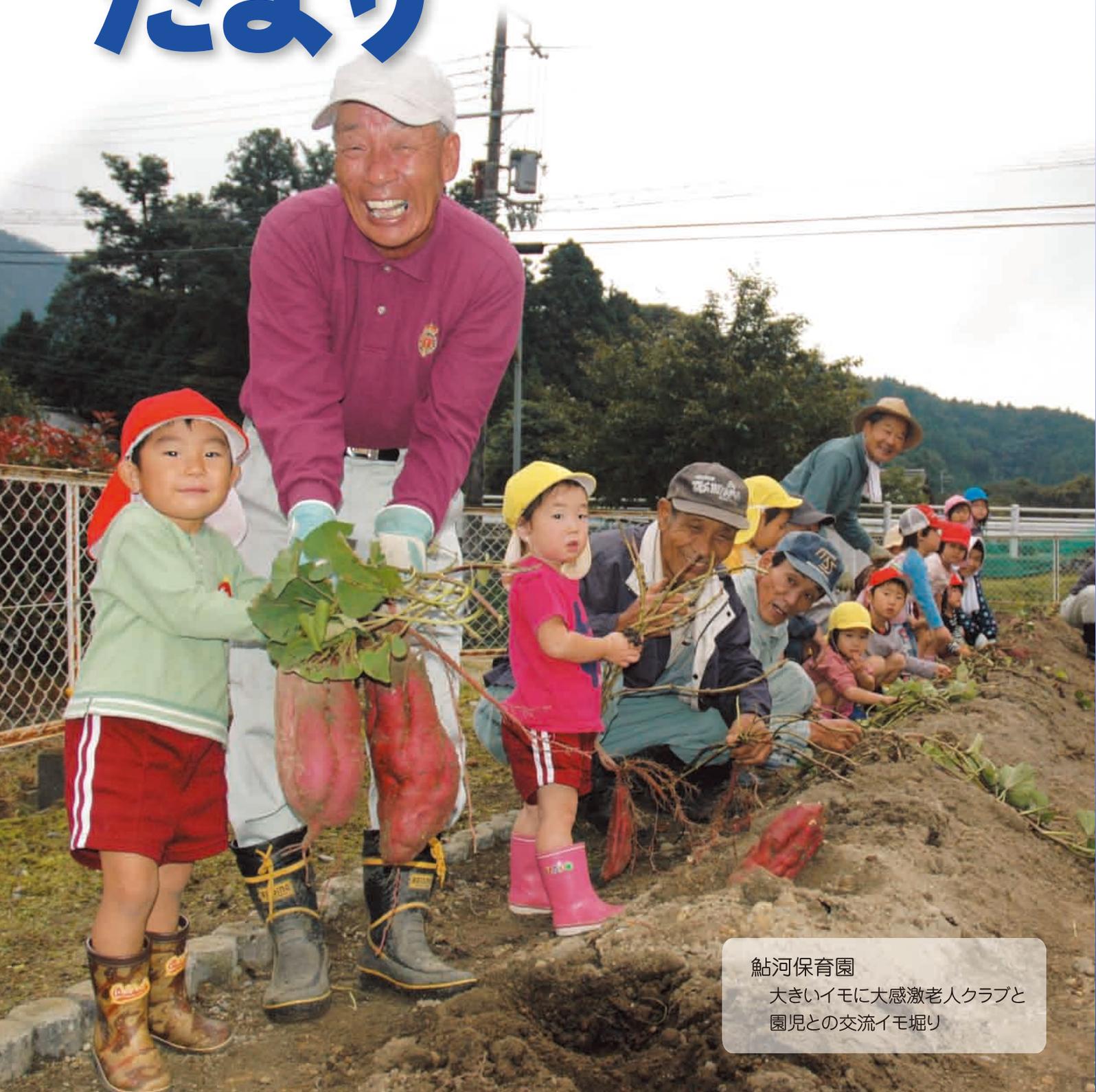
市議会 だより

city
assembly
report

Vol. **12**

おもな内容

- 特集 新名神高速道路 — 2~5
- 決算特別委員会 — 6~7
- 議案審議 — 8~9
- 常任委員会報告 — 10~13
- 代表質問 — 14~16
- 一般質問(14名が問う) — 17~22
- 特別委員会等の動き — 23
- くつろぎこうか [シリーズVol.8] — 24



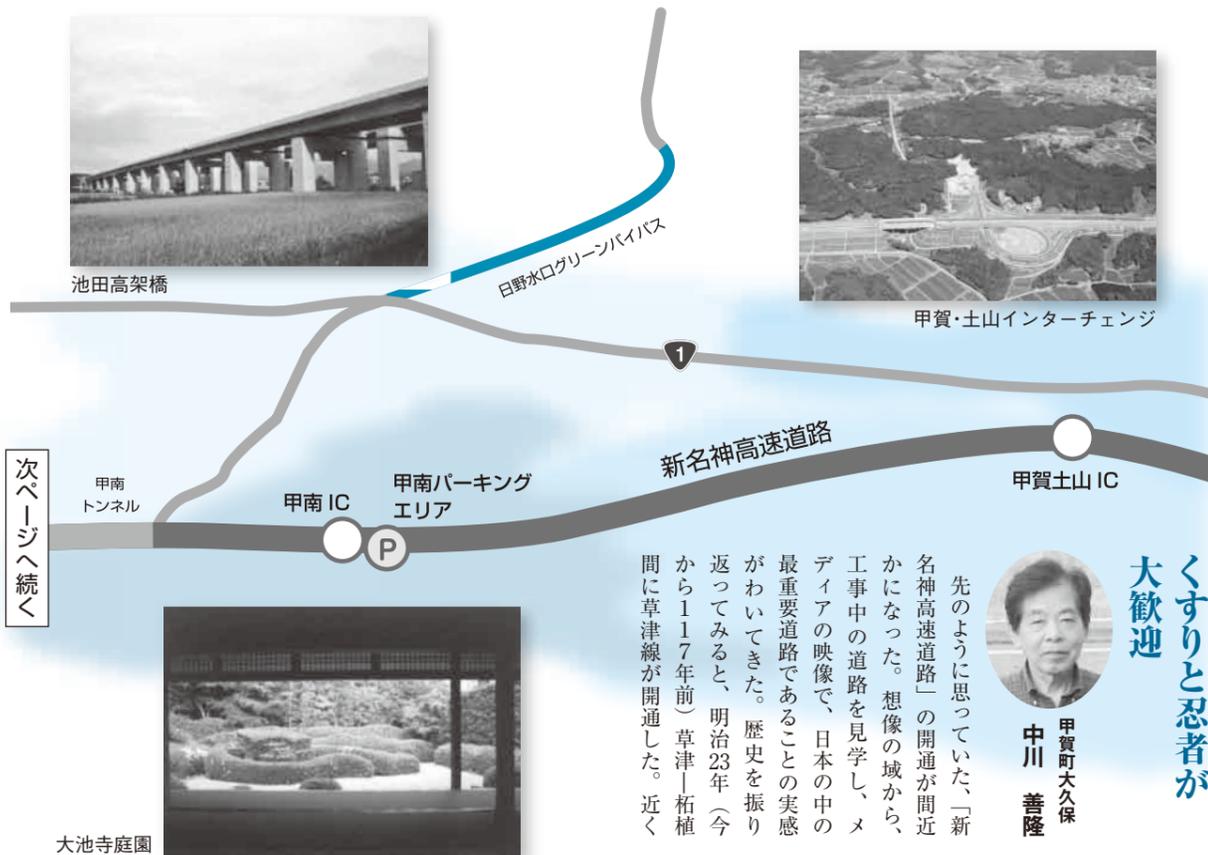
鮎河保育園
大きいイモに大感激老人クラブと
園児との交流イモ掘り

特集

夢と期待をのせて...

いよいよ開通

新名神高速道路



次ページへ続く

議会では「第二名神対策特別委員会」を設置し、早期の事業化要望と併せ、アクセス道路や、SA・PAなど、市民からの要望事項の解決に向け取り組んできました。

平成18年2月 進捗状況現地調査

- 民営化後の経営方針は
- アクセス道路整備計画について
- 甲南インターの県工事について

平成18年6月 SA・PAの概況

- 18年度の工事計画について
- SA・PAの基本計画について

平成19年4月 土山サービスエリア現地調査

- 土山SA、甲南PAの状況
- ハイウェイサービスの基本理念

平成19年7月 所管事務調査

- 開通までの作業工程について
- 開通記念行事について

(第二名神対策特別委員会)

くすりと忍者が大歓迎

先のように思っていた、「新名神高速道路」の開通が間近かになった。想像の域から、工事中の道路を見学し、メディアの映像で、日本の中の最重要道路であることの実感がわいてきた。歴史を振り返ってみると、明治23年（今から117年前）草津―栢植間に草津線が開通した。近く

甲賀町大久保
中川 善隆

自然・歴史・文化
いっぱいの甲賀市



油日神社



檮野寺 木造十一面観音生像

95年12月の建設着手以来10数年、待ちに待った「新名神」（亀山―草津間）がいよいよ来春開通します。近畿と中部を最短ルートで結ぶこの高速道路にける地域の期待は大きいものがあります。京都・奈良に並ぶ立派な史跡、観光資源。がんばる甲賀の農業、特産品。インター周辺の土地利用など、地域経済の活性化に大きく寄与してくれるだろう「新名神」への期待と課題を特集しました。

道は地域発展の原動力とも言われている。この度の新名神開通は滋賀県の南玄関として甲賀市がクローズアップされ発展を期待する。ここで、先ず多くの人を誘致する手段は、東海道等の道と、先祖が築き保ちてくれた多くの貴重な遺跡、歴史文化遺産及び観光資源を活かして活動する事である。私共は三年前発足した水口町観光協会みなくち観光ボランティアガイド部で、常に温かいおもてなしの心でもって案内し、「水口へ来て良かった」「もう一度来たい」の気持ちになってもらえる接待に努め、今後は一層観光客の受け入れ増加に努めたいと考えている。なお、この機会に各町でも、観光ボランティアの組織づくりを進めていただき、連携協調しながら、「観光こうか」の発展に貢献したいと思っています。

水口町名坂
名倉 利次



21世紀の新時代にふさわしい役割りを果し得る道路ということで「新名神」との名称がつけられたと聞いております。端的に考えますと新名神・名神・R1・名阪の各道路へと交通の流れが分散されることにより、交通渋滞等が解消され、甲賀市から京都・名古屋方面へ気軽に、安全快適

土山町前野
松田 勝征

第二名神へ新名神へ

に、しかも短時間で行けるということであります。さらに名称にふさわしい道路機能とその付随効果の発揮に期待するところでもあります。中でも甲賀市において特に注目すべきは「土山SA」であります。ショッピングセンター、公園、バス停等を併設し、一般道からも乗入れ可能な連絡道・駐車場を設け、誰もが立寄り利用しやすい「ハイウェイオアシス」として、また地元経済発展等にも貢献でき、甲賀市の表玄関にふさわしい「土山SA」となるよう各方面の努力が必要では...と思っております。



旧東海道松並木

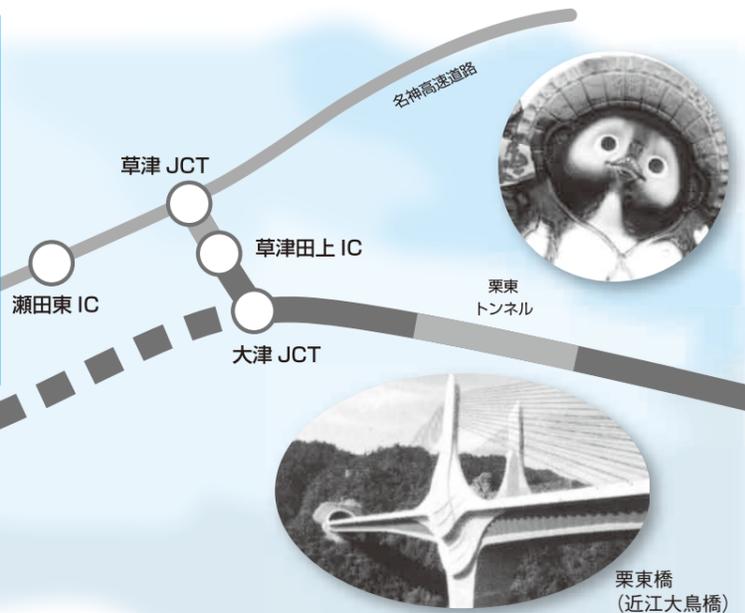
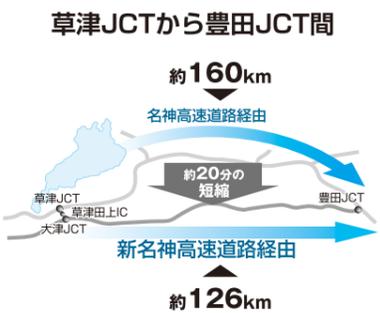


青土ダムエコパレイ



産業・文化など 社会経済活動 に大きな期待「新名神」

新名神の距離・所用時間短縮効果



平成5年11月の晩秋、国幹審において、第二名神自動車道が「計画路線から整備路線を経て、「施行命令」が出ました」と役場から連絡を受け、一同手を握り合い歓喜したのであります。

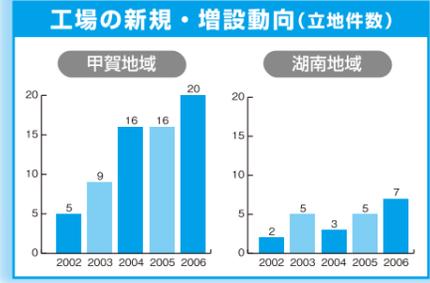
この日から数えること15年。その間、地元説明、路線測量、調査設計、用地買収と進み、平成7年には土山橋の地点で中心杭の打設式が施行され建設の第一歩が始まったのであります。



甲賀躍進のため 責任重大

滋賀県の企業立地動向調査でも、甲賀地域の製造業の工場・研究所が年々増加し、県下全体の約50%が甲賀地域に集中しています。

新名神高速道路が開通すれば相乗効果により、更に諸産業・地域経済の活性化をもたらし、地域発展が期待されます。



これを機に、来訪者の期待に応えた、ホスピタリティーな観光整備が望まれます。例えば、素朴な古窯の佇まいが色濃く残る窯元散策路の復元や、個性ある陶器店が軒を連ねる町並み、窯道具や火鉢や狸など、信楽焼の今昔を展示した各種展示館、窯元民宿による陶芸留学、また紫香宮関連遺跡資料館、高原農業体験や郷土グルメなど「新名神時代」の地域づくりの夢が広がります。

新名神時代の地域づくり！

信楽町長野 植田 郁



私達くのいち本舗が特産品「黒影おこわ」を製造販売するにあたり、ほっと一息つける場所として町内を探し歩いて、やっと見つけた所が甲南町竜法師の里山にほつんと佇む古民家です。近くには、忍術屋敷や成田牧場、然酒館とともに、健康と環境志向のロハスを感じる里山の暮らしがあります。庭先から見える新名神も完成間近か。地域の利便性を良くする新名神がのどかな里山の暮らしのよさをアピールし、地域のよりよい発展につながっていきましょうと思います。

ロハスな里山は 新名神とともに

甲南町寺庄 吉坂 孝



自然・歴史・文化が香る甲賀市



前ページより

決算特別委員会で集中審議

9月12日～21日

甲賀市改革元年 決算



決算特別		委員会委員		
委員長	河合 定郎	中西弥兵衛	辻 金雄	
副委員長	白坂萬里子	野田 卓治	藤井 克宏	
	山川 宏治	加藤 和孝	拙 藤男	
	橋本 律子	石川善太郎	林 勝彦	
	安井 直明	小松 正人		

平成18年度の決算の審査については「甲賀市改革元年」と位置づけられた厳しい財政状況の中、総合計画策定の推進

委員報告における主な内容は次のとおりです。

平成18年度甲賀市一般会計決算の認定について、付託された決算特別委員会では、5日間にわたり関係各部から資料等の提示を求めながら、慎重に審査しました。

予算に対し適正に執行されているか、また来年度の予算にどう反映させていくのかを中心に審査し、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

に向けた、市民の期待に応えるべく適正に執行されたものかどうかを重点に行ないました。歳入面では、自主財源の市税や使用料など前年度より増額となったものの、国の三位一体改革の影響を受け、地方交付税などの依存財源の減少により、結果として歳入済額は約373億円と対前年度比7.3ポイント減となり

自主財源の根幹である市税は、128億6千万円と、昨年よりは3億6千万円、率で2.94ポイント伸びています。が、収納率が悪化してきており、確実な徴収について、悪質な滞納者には積極的に、差押えをはじめ一定のペナルティを検討する時期にきています。思われます。

決算委員会では終始、税の滞納問題について、十分な徴収活動ができていないのか、不能欠損で旧町からの引き継いだものについて一貫性があったのかなどについて意見が集中しました。

もとより、税や料金は市民サービスの原資であり対価であることから、全ての市民の公平な負担により、これを収納することこそ、必要な行政水準が維持されることを市民も自覚してほしいと願うものです。

審査中の 主な意見

木の学習机は温かみがあり、学校改築時だけでなく市内全学校に計画的に配置しては。

災害初動時には、自主防災組織が重要な役割を果たしていただく事になるので、市内の組織化に努められたい。

運動公園や社会体育施設の土地利用は見直す時期に来ている。現状を調査分析し、取得計画に基づき積極的な対応を望む。

学校緊急メールネットワーク事業は、不審者や犯罪防止につながる大事な事であるので、危険管理上からより充実されたい。

防犯灯・道路照明灯は市民からの要望が多いので、可能な限り応えていただきたい。

利率の高い起債については、繰り上げ償還や借り換え措置を講じられたい。

古城山の整備については、市民が憩える場として眺望も考え整備されたい。

農村振興総合整備事業で多くの要望が出されている計画的に推進されたい。

産業特区事業については、業界の取り組みと同時に、行政として商品開発や観光面での条件整備など積極的な推進を期待する。

総合型地域スポーツクラブは、3年の限定補助金では自立できないと聞いている。対策を講じられたい。

道路の維持補修は、市民の安全安心の見地から重要なもの、財政の厳しい中ではあるが決算が結了すれば繰越金も確定するので、9月に補修費を追加補正すべきである。

甲賀市内には約100ヶ所の公園があるが、遊具の点検及び犬の糞尿処理等管理を徹底されたい。

行政財産の貸付料及び市が借り受けている土地使用料の妥当性・統一性について検討を加え、適正価格を設定されたい。

企業誘致については、公害の出ない優良企業の誘致に努められたい。

茶業後継者には課題があり、魅力ある茶業の振興策と、担い手育成に努められたい。

鳥獣害対策で特に猿害について、より有効な対策を検討されたい。

学校給食の地産地消をより推進されたい。

教員住宅は老朽化も進んでおり、又、入居も少ない現状から、市営住宅の併用も考慮に必要性について検討する余地がある。

固定資産税の減免・税等の不能欠損処理については、厳格に行なわれたい。

市の例規はホームページで検索できるようになっているが、各種の要綱についてもホームページで公開すべきである。

税等の滞納は多額になっている。徴収については全庁体制で推進し、負担の公平性から毅然とした態度で臨まれたい。

行政の各分野で臨時職員を多く雇用しているが、個人情報を得る機会が多いので、守秘義務を徹底されたい。

臨時職員の保育士は、学校の臨時教諭と開きが大きく、職務内容は事務補助ではないか。改善が必要ではないか。

電算システムの保守経費が多額になっている。一元的管理を行い経費節減に努められたい。

広報の配布については、経費削減と確実な全戸配布を前提に更に検討されたい。

甲賀病院の移転問題については、市民にその経過が見えない。

地域審議会では、地域の要望や意見を聴取されたい。

商工会の合併については、行政の積極的なリーダーシップを望む。

行政は150戸位の区組織を考えているが、現実には13軒の区もある。合併して3年が経ち区組織のあり方を考える必要があるのではないかと。

一般会計歳出決算

(単位:円・%)

項目	予算現額	支出済額	構成比	対前年比
議会費	264,947,000	255,846,793	0.70	75.42
総務費	5,620,423,000	5,538,721,875	15.21	101.11
民生費	8,444,348,000	8,241,415,216	22.64	104.62
衛生費	4,155,190,000	4,107,096,387	11.28	100.24
労働費	189,920,000	185,158,427	0.51	80.86
農林水産業費	2,151,690,000	1,891,303,505	5.19	91.88
商工費	368,434,000	361,819,448	1.00	95.70
土木費	4,399,668,000	3,469,992,597	9.53	67.82
消防費	1,260,903,000	1,243,228,653	3.42	82.45
教育費	7,775,259,000	6,818,605,128	18.73	89.70
公債費	4,282,780,000	4,282,777,694	11.76	106.73
災害復旧費	10,731,000	10,373,125	0.03	139.61
予備費	41,844,000	0	-	-
合計	38,966,137,000	36,406,338,848	100.00	94.07

一般会計歳入決算

(単位:円・%)

区分	決算額	構成比	対前年比
市 税	12,867,556,133	34.50	102.94
分担金及び負担金	92,394,186	0.25	63.31
使用料及び手数料	1,041,035,806	2.79	100.05
財 産 収 入	73,917,707	0.20	82.74
寄 附 金	25,047,274	0.07	189.50
繰 入 金	245,456,000	0.66	13.61
繰 越 金	1,516,455,724	4.07	83.36
諸 収 入	1,371,803,704	3.68	76.80
小 計	17,233,666,534	46.20	89.77
地 方 譲 与 税	1,217,077,574	3.26	153.89
利子割交付金	36,819,000	0.10	69.61
配当割交付金	35,955,000	0.10	158.09
株式等譲渡所得割交付金	33,441,000	0.09	94.47
地方消費税交付金	822,569,000	2.21	100.46
ゴルフ場利用税交付金	491,112,400	1.32	98.63
自動車取得税交付金	314,879,000	0.84	103.72
地方特例交付金	335,587,000	0.90	83.89
地 方 交 付 税	6,185,743,000	16.58	92.81
交通安全対策特別交付金	16,284,000	0.04	106.92
国庫支出金	2,352,204,854	6.31	82.46
県 支 出 金	2,217,294,290	5.94	104.90
市 債	6,006,500,000	16.10	93.08
小 計	20,065,466,118	53.80	95.45
合 計	37,299,132,652	100.00	92.74



議案で審議したもの

常任委員会で審議

提出された議案は、市民の生活にかかわる内容が多いだけに、本会議だけではなく、所管する常任委員会で、詳細な説明を求め、審査し、各委員長が審議内容の報告を行いました。

総務常任委員会



市議会議員と市長選挙運動の公費負担に関する条例制定、土地取得事業特別会計、鉄道経営安定対策基金と鉄道施設整備基金両特別会計決算の認定の4件が付託されました。

民生常任委員会



国民健康保険特別会計、老人保健医療特別会計、介護保険特別会計、国民健康保険診療所特別会計、病院事業会計の5件が付託されました。

産業建設常任委員会



公共下水道事業、農業集落排水事業、野洲川基幹水利事業の各特別会計、水道事業会計の4件の決算認定、さらに公共下水道事業受益者負担金徴収条例、水道事業給水条例の改正についても審査しました。

臨時会

7月27日開催

7月臨時会が7月27日開かれ、国民健康保険税の

引き上げ、市道路線の認定、契約の変更締結、訴えの提起、訴訟事件の和解に関する議決などが提案されました。このうち、

国民健康保険税引き上げに対して、安井直明議員が反対討論、賛成多数で可決。その他の議案は全員賛成で可決しました。



人事・条例・決算・予算・意見書ほか

18年度一般・特別・企業会計決算認定 水道料金改定、下水道負担金など48議案

8月28日から9月25日まで開かれた9月定例会には、平成18年度一般会計をはじめ、10の特別会計、2つの事業会計の歳入歳出決算の認定を求める議案、また平成19年度補正予算関連11件、さらに条例制定・一部改正が10件、市道認定や指定管理に関する議案を含めて、全体で48議案について慎重審査を行いました。決算特別委員会、所管常任委員会でも徹底審議を重ね、25日の本会議で採決を行いました。各議案に対する審査結果は次の通りです。

条例の制定

◆甲賀市議会議員及び甲賀市長の選挙における選挙運動の公費負担に

【継続審査に全員賛成】

※総務常任委員会に付託
詳細は総務常任委員会のページ参照。

条例の一部改正

◆甲賀市情報公開条例の一部を改正する条例及び政治倫理の確立のた

めの甲賀市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正

◆甲賀市行財政財産使用料条例の一部を改正

補正予算

◆一般会計補正予算(第3号)

◆野洲川基幹水利施設管理事業特別会計補正予算(第1号)

◆鉄道経営安定対策基金特別会計補正予算(第1号)

◆国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)

◆水道事業会計補正予算(第1号)

以上、11件全員賛成にて可決

上水道料金引き上げ

口径及び用途	現行(円)	改正(円)	比較増(円)	改定率(%)
13mm	1,100	1,210	110	10%
20mm	2,700	2,970	270	
25mm	4,200	4,620	420	
30mm	6,000	6,600	600	
40mm	11,000	12,100	1,100	
50mm	17,000	18,700	1,700	
75mm	38,000	41,800	3,800	
100mm	67,000	73,700	6,700	
150mm	152,000	167,200	15,200	
200mm	266,000	292,600	26,600	
公共用(非住家用)	550	605	55	
臨時用	該当口径の2倍	該当口径の2倍		

超過料金(1ヶ月につき)

水量区分	現行(円)	改正(円)	比較増(円)	改定率(%)
10m以下	140	160	20	14.28
11m~20m	160	180	20	12.50
21m~50m	180	200	20	11.11
51m~100m	200	220	20	10.00
101m以上	220	240	20	9.09
臨時用	220	240	20	9.09

下水道負担金

区分	1平方メートル当たりの負担金額
水口負担区・水口分担区	250円
甲南負担区・甲南分担区	400円
甲賀負担区・甲賀分担区	420円
土山負担区・土山分担区	600円
信楽負担区・信楽分担区	600円

◆甲賀市公共下水道事業

◆甲賀市公園条例の一部を改正

◆甲賀市都市公園条例の一部を改正

◆甲賀市駐車場条例の一部を改正

◆甲賀市公共下水道事業

◆一般会計

◆介護保険特別会計

◆国民健康保険特別会計

◆老人保健医療特別会計

◆農業集落排水事業特別会計

◆土地取得事業特別会計

◆道路整備財源の安定的な確保と地方への配分強化に関する意見書

◆国民健康保険財政支援強化と制度の抜本的改

◆野洲川基幹水利事業特別会計

◆鉄道経営安定化対策基金特別会計

◆鉄道施設整備基金特別会計

◆国民健康保険診療所特別会計

◆病院事業会計

◆水道事業会計

◆市道の認定

◆革を求める意見書

◆信楽地域の下水道事業に関する請願(信楽地域区長会が、下水道受益者負担金などの軽減を求める)

◆反対討論(福西義幸)

◆賛成討論(藤井克宏)

△賛成討論(辻重治)

△賛成多数にて可決

△賛成多数にて可決

△賛成多数にて可決

人事

◆公平委員の選任

◆甚一郎(水口町北脇)

◆固定資産評価審査委員会委員

◆公民館補修費など

◆補正予算(第1号)

◆国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

◆老人保健医療特別会計補正予算(第1号)

◆介護保険特別会計補正予算(第1号)

◆公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

◆農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

◆土地取得事業特別会計

◆野洲川基幹水利施設管理事業特別会計補正予算(第1号)

◆鉄道経営安定対策基金特別会計補正予算(第1号)

◆国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)

◆水道事業会計補正予算(第1号)

以上、11件全員賛成にて可決

△賛成討論(辻重治)

△賛成多数にて可決



大河原ふれあいホール

指定管理の議決

◆大河原ふれあい広場

◆大河原ふれあいホール

◆大河原ふれあいホール

以上、11件全員賛成にて可決

請願

◆信楽地域の下水道事業に関する請願(信楽地域区長会が、下水道受益者負担金などの軽減を求める)

◆反対討論(福西義幸)

◆賛成討論(藤井克宏)

△賛成討論(辻重治)

△賛成多数にて可決

△賛成多数にて可決

民生常任委員会

市民の生活と環境・福祉に関わる委員会です。

地方自治法改正により
意見書など提出権が委員
会に認められ、民生常任

国保会計国の財政支援強化を求める意見書 地方自治法改正いかして常任委員会提案

委員会の総意として、国民健康保険財政支援強化と制度の抜本的改革を求め
る意見書を提出しま
した。



民生常任委員会に付託された平成18年度、4特別会計と病院事業会計決算の認定について9月19日、21日に慎重審議しました。

18年度国民健康保険など 決算を審査

●国民健康保険特別会計 決算

平成19年3月31日現在国民健康保険の加入状況は、15、466世帯、被保険者数31,005人となっています。国保税の収入未済額は、6億2,098万円で743世帯が18年度の新たな滞納世帯となっています。審査では、どうすれば未納をなくせるか、分析検討すべきとの指摘もあり、高齢化の進展、医療費の増加により一方自治体の努力だけでは

困難な状況から、国に対し財政支援などを求める意見書を提出することになりました。

●老人保険特別会計決算

老人保険法の一部改正により、医療費負担割合が一定以上の所得がある方は、2割から3割になり、対象者は683人です。平成20年度からは75歳以上を対象に、後期高齢者医療制度が創設されます。

●介護保険特別会計決算

制度改正により、要介護1から要支援2に移行

総務常任委員会

市行政推進の中核を担っている委員会です



市長選 市議選 の公費負担 継続審査に

18年度特別会計決算等付託議案審査

総務常任委員会では、付託された「甲賀市土地取得事業特別会計」「甲賀市鉄道経営安定対策基金特別会計」「甲賀市鉄道施設

整備基金特別会計」の決算認定にかかる審査と、「甲賀市議会議員及び甲賀市長選挙における選挙運動の公費負担に関する条

例の制定」の審査を行いました。土地取得事業会計では、7箇所の保有財産の現状と問題点についての質疑

を行い、本会計の記載の仕方等について意見が出されました。鉄道経営安定対策基金及び鉄道施設整備基金の

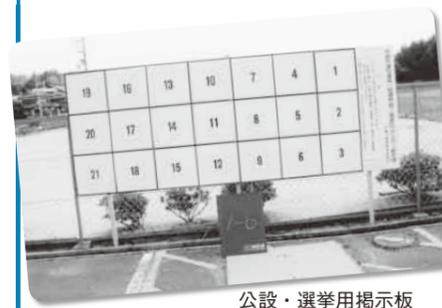
各会計は基金条例の趣旨に基づき執行されてきました。審査した3特別会計はそれぞれの目的に沿って執行されており、全会一致で認定すべきものと決定しました。市議選・市長選の公費負担については、様々な意見が出されるなか継続審査と決定しました。



住民の足、信楽高原鉄道

甲賀市議会議員・市長選における公費負担(案)

- ◆選挙運動用自動車(1日当り最高額・円)
 - ・一般乗用旅客自動車 ……64,500
 - ・レンタカー借用料 ……15,300
 - ・燃料代 ……7,350
 - ・運転手代 ……12,500
- ◆選挙用ポスター ……557,115
- ◆選挙運動用ビラ(市長選のみ) ……116,800



公設・選挙用掲示板

市議選・市長選における公費負担は、公職選挙法に基づき、市民に公平公正に参政権を行使し、意欲を持つ

者のだれもが立候補できる環境を整備しようとするものです。しかし、市議選・市長選における公費負担は、望ましいものがあり、市民の理解と納得がえられる内容が不可欠である。市財政事情が厳しいおり、公費負担は慎重にすべきである。ポスターについては、資料による検討と、最高限度額としての正当性を見極めることが必要等の意見が出されました。

慎重に審査を行った結果、委員賛成多数により、閉会中に委員会を開催し、資料による検討など積極的な審議を行うため、継続審査と決定しました。

した人は約半分、介護サービスの利用度も半分の方が利用されている。地域包括支援センターについては、今後必要時に相談にのれる体制整備が必要との意見でした。

●国民健康保険診療所特 別会計決算

医師確保の問題はあるが、存続の要望があり、出張診療も含め、よりよい地域医療を検討する必要がある。市民病院事業会計決算
医師不足解決が喫緊の課題となっています。水口市民病院は常勤医師減により減収が続いており、経営改善に努力されているが、安心して信頼される病院のあるべき姿を真剣に検討する必要があります。

環境行政と保幼一元化で視察研修

エトネットさばえ

環境保全を担う人づくりを進める中心施設、鯖江市環境教育支援センターを視察。省エネルギー、省資源など環境に配慮した構造になっており、環境教育の拠点として活用されています。

幼保一元化(高岡市福岡町)

福岡町では、女性の社会進出、3世代家庭の減少による保育所ニーズや、また少子化等により、幼稚園の園児数が減少するなど、住民のニーズへの対応として、幼保一元化が進められました。

福井県鯖江市へ



富山県高岡市へ



産業建設常任委員会

農業・観光振興・交通・上下水道の整備に関わる委員会です

所管事務調査 **今回は甲南エリア**

甲南地区の現地調査を実施

8月9日(9ヶ所)

当委員会では、甲賀市全域の所管事務の現状を認識することを目的に、集中的な事務調査を行なっています。今回は、甲南地区の現地調査を実施しました。

柑子・野尻合同井堰（野尻）

浅野川よりのかんがい用取水堰



ニッタモールドでの施設見学

ニッタモールド株式会社（甲南フロンティアパーク）

高精度の金型製作技術を生かしたプラスチック射出成形工場 従業員 74名



自動システムを採用したブルーベリー農園

「宮ベリー」ブルーベリー園（野川）

上野川営農組合によるバッグ栽培と自動給肥給水システムを採用した近代的ブルーベリー農園。

下野川急傾斜崩壊対策工事（下野川）

池田地区下水道工事、給配水管移設工事（池田）

甲南中央配水地・加圧所築造工事（竜法師）

寺庄駅周辺まちづくり交付金事業（寺庄）

寺庄駅周辺の道路拡張・下水整備・土地区画・住宅整備その他の総合整備事業。

新名神関連甲南P.A配水管布設工事（杉谷新治）



甲南中央配水地、加圧所を視察

甲南パーキングエリアへの給水を目的とした配水管の新設工事。

甲賀市上水道中央監視システム（甲南庁舎内）

信楽・甲南町域の上水道および簡易水道施設の監視を一元管理することにより、不測の事態を事前に把握することができ、水道給水システムの維持管理機能の向上が図れる。



中央監視システム運用状況の説明を受ける

（まとめ） 甲南 IC・PA を中心とした甲南地区の周辺環境整備の重要性を再認識しました。甲南フロンティアパーク等の工業団地の立地条件の良さ。地元農産物の栽培・加工施設の整備。寺庄駅周辺まちづくりの進行とともに甲南駅周辺整備の早期着工等、甲南地域活性化に向けて、今後も積極的な調査活動を行います。

柑子・野尻合同井堰、フロンティアパーク、野川ブルーベリー園、寺庄駅周辺

産業建設常任委員会では、甲賀市水道事業会計決算及び、3特別会計決算の認定、公共下水道事業受益者負担金徴収条例の修正等について、

また、また信楽地域の下水道事業に関する請願について2日間にわたり、審査を行いました。市民のくらしに大きくかかわる水道料金の値上げに関することだけに、

担当者の説明と県内市町との料金比較、水道事業会計の分析、合併協議会での決定事項などあらゆる角度から審査しました。請願の受益者負担金の軽減についても、旧町

から分担金には大きな違いもあり、水道審議会の諮問内容を受け慎重な審査を行いました。

企業立地・地産地消

林業振興を視察

行政視察報告

8月21・22日と兵庫県加西市・神戸市・佐用郡佐用町において実施した行政視察について報告します。

業誘致に成功した事例を見聞。木造県営住宅 地元間伐材を利用した「木造新構法」で、森林資源の育成効果が期待される事例。ふれあいの里・上月 生活改善グループから特産品工場と発展し、有限会社にされた優良組織を視察しました。

下水道事業受益者負担金

— 請願も含め付託案件を慎重審査 —

文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です

甲賀市の学校の適正規模は

小中学校適正規模等検討委員会が発足

学校の適正規模と統廃合

視察研修

甲賀市においても少子化の進行により、教育環境の問題など、学校の適正規模と統廃合が問題となっており、文教常任委員会として、すでに実施されている地域を訪問し、統廃合への経過・効果・問題などについて6月28・29日と研修を行いました。

長野県塩尻市、岐阜県高山市における学校統廃合について

④地域の合意について
・児童、生徒の思い
・保護者の思い
・地域住民の思い

長野県塩尻市
教育委員会から小学校統廃合に関する意見書をもとに、諸問題の解決のため、まちづくり審議会、小学校、保育園統合及び小学校統廃合問題等検討会議の答申、地域懇談会の

①統廃合の契機は
②対象学区、規模は
③統合に際して
どこがイニシアティブ
をとり組織はどうしたか

⑤統廃合の結果はどうか
等の項目を中心に経過説明をうけ質問方式で研修を行いました。

岐阜県高山市
高山市の統廃合の契機は、議会の一般質問やPTA総会で保護者から意見がだされ市民（地域の子どもを育てる会）が中心とした活動で取り組み、今回の合併を契機に統廃合の地域の拡大や少子化に対する将来の取り組みが特徴です。



塩尻市役所



高山市役所

結果を時系列にまとめた資料にもとづき、取り組むべき点、意識付け等々についての質疑を行いました。塩尻市における榎川小学校、費川小学校の統廃合は教育委員会（行政）指導型でおこなわれました。

平成19年度(2007年度)中学生夏の全国大会の結果

水口中学校					
【水泳】					
松井翔吾	男子	3年	予選	2'07"28	3位入賞
			決勝	2'06"93	
			予選	59"94	5位入賞
			決勝	59"84	
甲南中学校					
【サッカー】					
1回戦	対	旭東中(岡山)		2-0	勝利
2回戦	対	桐蔭学園中(神奈川)		1-2	敗退
【剣道】					
坂内麻椰	女子	3年	個人戦	1回戦	敗退
甲賀中学校					
【陸上競技】					
中井梨瑚	女子	3年	予選	15"06	準決
			準決	14"94	

的、計画的に授業や各種行事の交流を行い、児童の意識の一体感を醸成するよう時間をかけている。●廃校となった学校から校長あるいは教頭、担当教諭を統廃合先の学校へ定期異動を行い、一体感の

ある指導となるよう配慮されています。●統廃合には定期的な教育相談を行い、通学バスに教職員が必要に応じて乗車し児童の意識のゆれなどの把握に努めています。

教育委員会委員と懇談(懇談内容)

教育関連3法

副校長・主幹教諭、指導教諭を置くことが出来るようになる。また教員免許の更新等もあるが、甲賀市の学校に大きな影響はないと思われる。

学校給食の食材

中国産食材は現在では使用していない。より地産地消を目指す方針。

図書館の活用

市内5館のシステム統合に向け、カードの統一や図書検索、インターネットの活用など、サービス向上に向け検討中。

代表質問

四万十川水難事故について問う

清風クラブ



村山 庄衛

問 今回の事故の対応と今後の対策について。

市長 今回の事故は最悪の結果であり、心からお詫びいたします。誠意の限りを尽くして対応する。事故は危機管理体制の甘さであり、今後についてはあらゆるリスクを浮きぼりにしマニュアルを作成し安全確保に取り組む。

教育長 市の事業として大切なお子様をお預かりしながらお二人の尊い命を救い得なかった責任を痛感している。事故対応については事実関係を把握し、対策本部を開設し最大の誠意をもって全職員で努めます。ご遺族様と地域の皆様には各担当を信楽支所に配置し誠心誠意の対応をする。事故関係者の皆様にはカウン

セラーを配置し今後とも心のケアに努める。

副市長 16回の継続事業で青少年育成に役割を果たしてきた事業だけにただ、ただ無念であり、この責任と償い方を痛感しております。

問 情報化の推進について

市長 甲賀市地域情報計画に基づき民間活用を基本姿勢とし市内三事業者との協力体制で事業の実施についての理解が得られたと認識する。今後は三事業者の一日も早い統合の協力を求めている。今年12月を目途に諸課題を検討し市としての最終判断を行う。

問 農業振興事業における「中山間地域総合整備事業」及び



環境保全での地域の取組み

「農村振興総合整備事業」の継続について

市長 中山間については本年度完了を21年度に延伸し信楽地区においても検討する。農振については今年度完了し22年度の後期採択にむけ全市に拡大する方向である。

農業委員会局長 「農地、水、環境保全向上対策」をチャンスと捉え耕作放棄地の解消に努める。

公明党



白坂 萬里子

信頼される行政・市役所に

問 この3年間、努力され、どのように改革を進めてきたか。

市長 先ずは、旧町からの引継ぎ事項を履行し、その上で5町の垣根を払い、9万5,700市民が一体感のなかで自信と誇りが持てるよう、集中力を弱めることなく経験を活かし、持てる責任感と行動力で全ての市政運営に取組んできた。

問 市民に分かりやすい財政状況を公表し、評価を求める取組みはどうか。

市長 予算の執行状況や住民負担の状況、公営事業の経理の概況、財産・地方債及び一時借入金等の現在高などを広報紙にて公表。問答方式やグラフを掲載し、工夫を重ねている。またホームページ

では、「甲賀市政」の中に「財政・予算」のリンク項目を設けた。

問 職員の定員適正化の調整と人材育成は。

市長 退職者の3分の1を新規採用で補充、調整。また「人事制度」と「研修制度」と「職場環境」の3つの要因から総合的に人材育成をし、人事評価制度で職員の能力開発を促進している。

問 多重債務対策について

部長 国では多重債務対策本部が設置され、「改善プログラム」を策定し、丁寧な事情の聴取、具体的な解決方法の検討、助言ができるよう、相談体制や相談内容の充実、専門機関である弁護士、司法書



壁面緑化の取組み

士等への確実な誘導等を市町村に要請。本市においても関係機関との連携強化、関係職員への研修などを計画し、国のプログラムに基づく体制を整えるよう計画していく。

環境問題

・太陽光発電の普及・啓発に積極的な支援を。
・グリーン購入（環境負荷の低減に資する物品）の取組みと目標は。
・壁面緑化（緑のカーテン）の効果も公共施設に取入れては、等も質問。

各会派による 代表質問

平成19年第6回甲賀市議会定例会代表質問

平成19年9月7日

順番	議席番号	氏名	会派名	質問事項
1	19番	村山庄衛	清風クラブ	1 四万十川における水難事故について ①事故原因の認識について ②危機管理体制について ③今後の対応について
				2 情報化の推進について
				3 農業振興事業について
				4 行政改革の推進を民の知恵と活力で
2	23番	白坂萬里子	公明党甲賀市議団	1 市長の市政運営について
				2 行政改革について
				3 環境問題について
				4 多重債務対策について
3	1番	山岡光広	日本共産党 甲賀市議員団	1 参院選後の新しい政治の方向について
				2 四万十川での事故の教訓をどう生かすのか
				3 同和行政の終結にむけた課題について
				4 健康と福祉のまちづくり推進について ①国保法にもとづく医療費負担の軽減策 ②妊産婦の健診回数を増やすこと ③後期高齢者医療制度について
				5 市民のための図書館の有効活用について
4	12番	石川善太郎	正政会	1 甲賀市および甲賀市教育委員会の主催事業について (四万十川での水難事故をうけて)
				2 公設市民オンブズマン制度の設置について
				3 行政改革について
				4 市の公共施設における耐震化対策について
				5 市内の公立医療機関(病院)の実態について

目次 一般質問

平成 19 年第 6 回甲賀市議会定例会一般質問

平成 19 年 9 月 10 日・11 日

順番	議席番号	氏名	質問事項
1	5 番	鶴飼 勲	1 柿田川の水質保全と流域の環境保全について
			2 保・幼登降園における自転車幼児用座席利用時の幼児用ヘルメット着用について
			3 災害時要援護者の支援計画の進捗状況について
2	3 番	松本昌市	1 ラブアースこうか 2007 について
			2 食の安全と地産地消について
3	13 番	加藤和孝	1 市が掛け金を負担するボランティア保険制度について
			2 減災に向けての取り組みについて
			①気象庁の「緊急地震速報」の活用 ②本市における「耐震改修促進計画」の策定
4	22 番	友廣 勇	3 高学年児童の長期休暇における対応について
			1 四万十川における水難事故について
			2 公用車の保有台数と管理体制について
			3 市民電子会議室の設置について
5	21 番	安井直明	4 最低制限価格の決定について
			1 甲賀市公共施設見直し方針について
			2 公民館の今後のあり方と当面の補修について
			3 パルスオキシメーター（動脈血中酸素飽和度測定器）の設置について
6	11 番	小松正人	1 ネコの正しい飼い方と被害対策をどうすすめるか
			2 市道の法面や歩道・植樹樹の維持管理について
			3 住宅困窮者への住宅提供と市営住宅の衛生対策の実行について
7	20 番	中西弥兵衛	4 水口町八田字「込田」農用地について、解明すべき点と事件の進捗状況を再び質問する
			1 信楽町公共下水道事業に係る受益者負担金のあり方について
			2 「国際陶芸産業都市」特区の進捗状況について
			3 紫香楽宮関連遺跡群の保存・活用への取り組みについて
8	24 番	岩田孝之	1 選挙について
9	6 番	土山定信	1 クリーンセンター滋賀の安全を市民に知らせる方法について
			2 市設のヘリポート基地設置について
10	18 番	河合定郎	1 新名神関連事業の一連の動きについて問う
			①インター周辺の土地利用についての進捗状況と、「名神・名阪連絡道路」のその後の動きについて。 ②土山サービスエリアが果たす役割を考えて…。
11	2 番	林 勝彦	1 ごみ不法投棄防止について
			2 医療費抑制の観点などから在宅医療が推進されますますます増える家庭医療ごみは、市としてどのように対応しているのか
			3 合併後3年が経過しようとしているが、旧町名での憲章碑等があるが、市としてどのように考えているのか、また今後どのようにされるのか
12	7 番	木村泰男	1 甲南駅周辺整備について
			2 危機管理について
13	15 番	福西義幸	1 ねじれ時代到来、どうする甲賀市農政
			2 公共の安全の確保「テロ集団」オウム対策のその後
			3 水口「岡山城」の復元策、市長の思いは…
			4 植遺跡、大型高床倉庫の復元と遺跡公園の整備について
14	16 番	伴 資男	1 北泉から名坂地先に通ずる新設道路計画について
			2 甲賀市総合計画の推進について

代表質問

四万十川での事故の教訓をどう生かすのか

日本共産党



山岡 光広

参院選後の新しい政治方向、四万十川での事故の教訓をどう生かすのか、同和行政の終結にむけた課題、健康と福祉のまちづくり推進へ医療費負担の軽減策、妊産婦無料健診券の拡大、後期高齢者医療制度の改善、図書館の有効活用へシステムの統一化など大きく5点について調査資料をもとに市政の問題点を指摘、市民の要求実現を迫った。このうち市民のくらしにかかわる部分について質問と答弁の要旨を紹介する。

問 四万十川での水難事故から、子どもたちが楽しく学べる環境、遊べる環境をどうつくっていくのか。主催者側の事故の予見と回避義務はどうであったか。

市長 今回事業による計画段階から実施に至るまでの間、徹底的に検証し、その結果をふまえて、危機発生未然防止策をはじめ、迅速・的確に対応できるマニュアルの作成や危機管理体制整備強化を図っていきたい。

教育長 危険認知の下見調査は充分でなかった。危機管理体制に甘さがあった。管理体制に甘さがあった。

問 「同和地区」住民であることを認定する自立支援委員会、差別解消に逆行する。直ちに解散を。しかも行政代表が参画しているのは重大な問題。

副市長 行政代表が参画することは（廃止する方向で）見直す。

問 市が発注する公共事業入札参加資格要件に「同和・人権研修を絶対条件」とするのは問題。特に物品供与については除くべき。

財務部長 物品供与については絶対条件としない。

問 公費による妊産婦健診

は原則5回以上すべき、と厚労省も示している。無料健診券（甲賀市は2回）の拡大を。

健康福祉部長 新年度実施の方向で調整する。

問 合併時から懸案になっている市内5館の図書館コンピュータシステムの統合により、利用者カードの統一・検索・貸出しカードの利用が便利になり、経費節減にもなる。早期に実施を。

教育長 年次は明らかではないが、早期に実施したい。

妊産婦健診無料券の上乗せ自治体

近江八幡市	3回	
栗東市	3回	上限3,000円/回
高島市	8回	上限3,000円/回
東近江市	第1子・第2子は3回、 第3子からは12回	上限3,000円/回
米原市	3回	上限5,000円/回
湖南市	4回	非課税世帯のみ (上限3,000円/回)
日野町	3回	上限5,000円/回
虎姫町	3回	上限3,000円/回
湖北町	3回	上限3,000円/回

行政改革の進捗状況と公設病院の現況は

正政会



石川 善太郎

問 行政改革の進捗状況は。

市長 行政改革推進計画において、平成18年度に実施又は検討するとしていた項目は88項目あり、そのうち72項目については、実施または一部実施できているものである。平成19年度に実施または検討するとしていた実施項目は108項目あり、現在取り組みを進めているところであり、確実な進捗管理に努めていく。

問 職員の意識改革が重要と思うが、市長の対応は。

市長 人の意識を変えるのは大変難しく声を大にして言っても変わるものではない。公務員としての職務執行に際しては、時代要求に答えられる気構えの意識が必要である。

意識改革への取り組みのひとつとして、企業経営での目標管理の考え方を取り入れ、各部署自らが重点目標を設定、公表し、必ず実現するという契約認識のもとに、政策マニフェストという形で事業実施の確約を交している目標に向って実践する事は、自分で考え、心で感じ、目標達成イメージを持つことが必要となる。

問 水口市民病院の実態は。

病院事務部長 水口市民病院の最大の課題は医師不足である。常勤医師の確保に向けて、現況を県や滋賀医大に伝え、再三の陳情を行い、直接医師からの紹介や、



病院の担う役割が問われている。

院長等による懸命の努力をしているが更に困難が予想される。本年度策定する病院マスタープランにおいて当病院が担うべき医療の役割や機能、また生き残りをかけた方向性を検討していく。

問 公立甲賀病院の移転新築の進捗状況は。

市長 病院組合で鋭意検討中であり、移転地については絞り込んでいるが公表には至っていない。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです

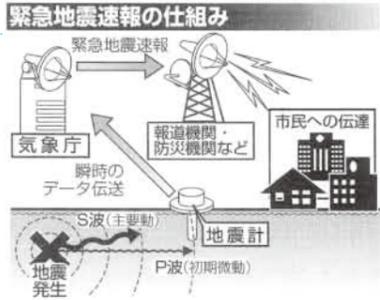
教育委員会事務局 緊急地震速報を利活用するためのマニュアルや行動指針などが作成された

緊急地震速報を利活用するためのマニュアルや行動指針などが作成された。

建設部長 平成19年度中に策定すべく補正予算を計上した。耐震改修促進計画と本市にある鈴鹿西縁断層帯や頓宮断層帯などの活断層についてのハザードマップとを策定して公表する。

問 小中学校などの教育施設を含めた公共施設での減災を促進するため、気象庁の緊急地震速報を積極的に活用すべきと考えるが。

総務部長 協働のまちづくりを推進するため、社会貢献度や公益の側面など誰もが妥当と判断できる活動内容が補償の対象となるよう検討を加え、来年度も継続していく考えである。



問 外部評価者により市民活動総合補償制度（ボランティア保険）は不要と判断された。活動を円滑に進める上で市の支援は必要と考

加藤和孝 議員

A 来年度も本制度を継続する

Q ボランティア保険の継続を

ち、緊急地震速報の受信装置や校内放送などのシステム構築を含めた整備方針の検討に入る。

ち、緊急地震速報の受信装置や校内放送などのシステム構築を含めた整備方針の検討に入る。



14人の議員が登壇

○より詳細な内容はインターネットでご覧になることができます。

問 本市における耐震改修を促進するための耐震改修促進計画を策定すべきでは。

建設部長 平成19年度中に策定すべく補正予算を計上した。耐震改修促進計画と本市にある鈴鹿西縁断層帯や頓宮断層帯などの活断層についてのハザードマップとを策定して公表する。

問 本市における耐震改修を促進するための耐震改修促進計画を策定すべきでは。

建設部長 平成19年度中に策定すべく補正予算を計上した。耐震改修促進計画と本市にある鈴鹿西縁断層帯や頓宮断層帯などの活断層についてのハザードマップとを策定して公表する。

問 市民はセルフなど生活防衛を図っている。財政厳しい行政も当然検討すべきである。

財務部長 本市保有の公用車は、軽自動車119台、小型貨物車46台、普通車46台、消防車125台等373台である。

問 市民電子会議室を設置している自治体を視察した。「協働」を実践するには必要ではないか。

企業部長 市民と行政の接点を多く持つことは重要であるが、先ずは情報通信基盤の整備に取り組みたい。

友廣 勇 議員

問 新聞報道にある通り「安全管理が不十分だった」と謝罪の言葉を繰り返しても責任を果したとは言えない。今早急に求められるのは、行政責任であると思うが。

教育長 今回の事故は、旧態依然とした考え方で事業が実施されたもので、馴れ合いと思いがりによるものである。原因一つ一つを猛省し、再びこうした悲しい事故を引き起こさないよう万全の危機管理体制を構築していきたい。

Q 四万十川水難事故での行政責任は

A 万全の危機管理体制を構築することで

問 現在保有している公用車と高騰している燃料費に対する対応は。

財務部長 本市保有の公用車は、軽自動車119台、小型貨物車46台、普通車46台、消防車125台等373台である。

問 市民電子会議室を設置している自治体を視察した。「協働」を実践するには必要ではないか。

企業部長 市民と行政の接点を多く持つことは重要であるが、先ずは情報通信基盤の整備に取り組みたい。

燃料の購入は、特定の業者との一括契約はせず石油協同組合加盟店で、購入単価は毎月協議を行い、市内同一単価を基本としている。単価は1ℓ146円である。

問 市民電子会議室を設置している自治体を視察した。「協働」を実践するには必要ではないか。

企業部長 市民と行政の接点を多く持つことは重要であるが、先ずは情報通信基盤の整備に取り組みたい。

活防衛を図っている。財政厳しい行政も当然検討すべきである。

安井直明 議員

A 年次をきめて検討する

Q 学校、公民館などの今後は

問 小中学校、幼稚園・保育園、公民館及び図書館の今後の見直しは。

案の田代分館など、外装や内装の補修が必要。特に雨漏れの補修が必要。伴谷と土山公民館は、930万円の補正予算をつけた。

案の田代分館など、外装や内装の補修が必要。特に雨漏れの補修が必要。伴谷と土山公民館は、930万円の補正予算をつけた。

案の田代分館など、外装や内装の補修が必要。特に雨漏れの補修が必要。伴谷と土山公民館は、930万円の補正予算をつけた。

問 維持補修が必要な公民館があるが、予算措置はどうか。

教育長 平成18年度で昭和56年以前に建築の10箇所が公民館について耐震診断を行い、その結果順次補修を計画していきたいと答弁した。伴谷をはじめ山内、土山、信

問 維持補修が必要な公民館があるが、予算措置はどうか。

教育長 平成18年度で昭和56年以前に建築の10箇所が公民館について耐震診断を行い、その結果順次補修を計画していきたいと答弁した。伴谷をはじめ山内、土山、信

問 維持補修が必要な公民館があるが、予算措置はどうか。

教育長 平成18年度で昭和56年以前に建築の10箇所が公民館について耐震診断を行い、その結果順次補修を計画していきたいと答弁した。伴谷をはじめ山内、土山、信

問 維持補修が必要な公民館があるが、予算措置はどうか。

問 維持補修が必要な公民館があるが、予算措置はどうか。



パルスオキシメーター

問 パルスオキシメーター（動脈血中酸素飽和度測定器）を学校に設置せよ。

教育長 心臓や呼吸器疾患のある子供は小・中学校で9名と把握。学校医が必要と言うなら設置する。

問 パルスオキシメーター（動脈血中酸素飽和度測定器）を学校に設置せよ。

教育長 心臓や呼吸器疾患のある子供は小・中学校で9名と把握。学校医が必要と言うなら設置する。

問 パルスオキシメーター（動脈血中酸素飽和度測定器）を学校に設置せよ。

教育長 心臓や呼吸器疾患のある子供は小・中学校で9名と把握。学校医が必要と言うなら設置する。

問 不測の事故から子どもたちの尊い命を守るために保・幼稚園の登陸園時における自転車幼児用座席利用時の幼児用ヘルメットの着用促進啓発は

教育委員会事務局 長 今年度の道交法の一部改正に伴い、児童・幼児を自転車に乗車させる時の、ヘルメット着用の努力義務規定が追加された。幼児期からの法令順守の意識づけも重要で、家庭・地域・園・学校が連携しながら啓発に努める。

問 柿田川の水質保全と流域の環境保全策についての対応は

市民環境部長 柿田川を含む市内河川56箇所定期的に水質検査を実施している。柿田川の検査結果においては、他の調査河川と比べ窒素・リンの数値が比較的高いと判断

される。その原因として上流部に設置された汚水処理施設から放流される処理水も原因のひとつであると考えられる。当該施設や地下配管の老朽化も否定できないことから施設を管理する事業者への指導について、関係機関へ働きかけを行ない水質保全に努める。

問 災害発生時の要援護者支援計画の進捗状況について質問しました。

災害発生時の要援護者支援計画の進捗状況について質問しました。



水質悪化が懸念される柿田川

される。その原因として上流部に設置された汚水処理施設から放流される処理水も原因のひとつであると考えられる。当該施設や地下配管の老朽化も否定できないことから施設を管理する事業者への指導について、関係機関へ働きかけを行ない水質保全に努める。

災害発生時の要援護者支援計画の進捗状況について質問しました。

災害発生時の要援護者支援計画の進捗状況について質問しました。

災害発生時の要援護者支援計画の進捗状況について質問しました。

問 今や温暖化は地球規模の問題となっているが甲賀市としての対応は

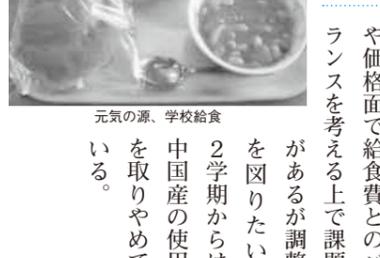
市長 甲賀市地球温暖化防止対策「ラブアース2007」は、職員一人ひとりが積極的に推進・実施することにより、甲賀市の豊かな自然環境の保全や、地球環境を次世代に引きついでいくために何が出来るかを考え、家庭や事業所にも自主的な取り組みを促して行きたいとの強い思いと期待を持って作

問 今や温暖化は地球規模の問題となっているが甲賀市としての対応は

市長 甲賀市地球温暖化防止対策「ラブアース2007」は、職員一人ひとりが積極的に推進・実施することにより、甲賀市の豊かな自然環境の保全や、地球環境を次世代に引きついでいくために何が出来るかを考え、家庭や事業所にも自主的な取り組みを促して行きたいとの強い思いと期待を持って作

問 今や温暖化は地球規模の問題となっているが甲賀市としての対応は

市長 甲賀市地球温暖化防止対策「ラブアース2007」は、職員一人ひとりが積極的に推進・実施することにより、甲賀市の豊かな自然環境の保全や、地球環境を次世代に引きついでいくために何が出来るかを考え、家庭や事業所にも自主的な取り組みを促して行きたいとの強い思いと期待を持って作



元気の源、学校給食

問 最近、輸入食材の安全性が問題になっているが、地産地消を含めて輸入産物に頼らない国内産でまかなう取り組みについて伺う。特に中国産には問題があるのでは。

教育長 食材選定については各センターの栄養士により安全には万全を期している。国内で季節的に入手困難な食材や大量使用するプロックリー、ほうれん草等の輸入品は免疫所での検査証明書をとり安全確認をしている。地元産は気候の変動や価格面で給食費とのバランスを考慮する上で課題があるが調整を図りたい。

問 最近、輸入食材の安全性が問題になっているが、地産地消を含めて輸入産物に頼らない国内産でまかなう取り組みについて伺う。特に中国産には問題があるのでは。

教育長 食材選定については各センターの栄養士により安全には万全を期している。国内で季節的に入手困難な食材や大量使用するプロックリー、ほうれん草等の輸入品は免疫所での検査証明書をとり安全確認をしている。地元産は気候の変動や価格面で給食費とのバランスを考慮する上で課題があるが調整を図りたい。



一般質問



市営ヘリポート基地があれば
名古屋空港から約20分で到着 5人乗って名古屋空港に戻ったら、一人4万から5万円程度料金がかります。

問 緊急の場合のみでなく、民間ヘリも使えるヘリポート設置は、市として必要ないか。

市長 市営のヘリポートがあれば、公共、民間を問わず使用できて便利であるが、現状は使用頻度等で厳しい。

問 市営のヘリポート基地を持っている市は、全国でどの程度あるのか。

市長 全国で22箇所ある。隣の津市は、年間維持費が、2,500万円かかっている。

問 市営ヘリポート基地があれば、名古屋空港から約20分で到着、5人乗って名古屋空港に戻ったら、一人4万から5万円程度料金がかります。

市長 市営のヘリポートがあれば、公共、民間を問わず使用できて便利であるが、現状は使用頻度等で厳しい。

問 市営のヘリポート基地を持っている市は、全国でどの程度あるのか。

市長 全国で22箇所ある。隣の津市は、年間維持費が、2,500万円かかっている。

問 ①地域で、外猫が増え被害の苦情が多いが。市民環境部長 外猫に絶対エサを与えないようなパン等で啓発している。

問 外猫を減らすのに、市で条例を定め、引き取りを推進してはどうか。部長 県と共に、広域の制度が必要と考える。

問 外猫が増えないように避妊等手術の一部補助は出来ないか。部長 補助は難しい。

問 ②公園や市道法面、歩道、植樹柵等の維持管理費が削減され「草ぼうぼうの街や」と苦情がある。除草費を削るな。建設部長 九月議会で一千万円の補正をつけた。市道に隣接する方々にはご協力を願っている。

問 ③市営住宅の衛生環境が悪い。畳が古くダニ等の被害がある。古畳は点検して総入れ替えを。建設部長 入居者の申し出により入替への対応をする。

問 ④再び水口町八田字「込田」農用地の違反転用について追求した。農振地の除外申請や農業委員会、審査委員会の審査を経ず、頭越しで法務局へ申請など重大な違法行為が起きている。

問 クリーンセンター滋賀の安全は、また、保管する一重張りシートに傷が入ったら、直接流れるのではないか。

市民環境部長 どの部分から浸透水が入っても、センサーが感知し安全と説明を受けている。

問 私は、安全な施設であるとは思っていないがやはり、施設を管理する人柄に安全性は、左右されるのではないか。

部長 ハード面での安全の確保は当然として、点検、水質管理等、行なっている計画である。

問 なぜ下流に、市による二十四時間水質管理発想が出ないのか。部長 施設内の監視が大切であり、下流監視は、必要ないと考える。

問 審査委員の話によると当初より600円ありきのストーリーがあったのではと思える点が多かったと聞いているが委員の疑問に対し適確な説明をされたのか。上下水道部長 3回の審議会の中で多数の意見があったが総合的に勘案され600円で取りまとめられたところである。

問 大戸川ダム建設と引きかえに位置付けされた信楽の下水道事業に係る下流交付金は当然受益者に還元されるべきと考えられるが。部長 市内他の4町においても同様の琵琶湖総合開発促進交付金を一般財源として受けており受益者負担金を軽減することはなかった。今回も下流分は下水事業費に組み入れて

問 ダム事業者や県に対しダム上流自治体が不利益を被ることがないよう負担金の軽減策を強く要請されたい！

市長 国交省を始め県や関係機関に対し水特法による下流交付金を引き続き強く要望していきたい。負担金の平準化については近い将来統一する必要があると考えている。

問 関係機関に要望続ける

中西弥兵衛 議員

問 受益者負担金の軽減策を

問 インター周辺の土地利用は

候補地・手法の絞り込み中

河合定郎 議員

大きな夢と希望をのせて、いよいよ「新名神」が開通する。しかし、開通後のインター周辺や街づくりのビジョン（夢）が見えてこない。

問 インター周辺の土地利用と名神名阪連絡道路のその後の動きは。

市長 秩序ある土地利用の推進ということから、工業用地の調査・検討を進めている。現在数箇所

の地域について候補地を絞り込み、工業団地造成手法についても、県及び関係機関と協議中。名神名阪連絡道路については、本年5月にも伊



急ピッチで進む甲賀土山インターのゲート

賀市と国土交通省にも出向き、早期ルート決定と調査推進について強く要望した。民間レベルによる推進組織で要望活動も行なっていたと、市として大変心強い。

問 土山サービスエリアは地域産業振興や地域の活性化を目指す施設として進んでいるのか。

市長 交通量が当初計画より大幅に減じ、採算見込みも厳しい状況で、その運営に注視。市民参加の店舗計画となるよう「にぎわい広場」の設置や、地域の熱い思いが凝縮した施設となるよう申し入れており、取組む。

高速バスのバスのストップの設置や駐車場整備も進めている。

問 合併後三年が経過しようとしているが、土山支所には土山町民憲章のままである。また甲南地先には旧甲南町の非核平和都市宣言の町看板がある。市としてどのように考えているか。

企画部長 合併前の旧町において、町民憲章碑、非核平和都市宣言・交通安全宣言や環境美化条例制定を記念して設置された記念碑等があります。町民憲章碑は昨年度甲賀市市民憲章が制定された事に伴い、旧町の憲章碑を活用し、新たな憲章に模様替えをした。しかし、旧土山町の憲章碑は地域の方々より旧町の歴史として残してほしいとの要望があり、新たな憲章碑の設置については申出者が地域の方々の寄附をつ

問 合併後三年が経過しようとしているが、土山支所には土山町民憲章のままである。また甲南地先には旧甲南町の非核平和都市宣言の町看板がある。市としてどのように考えているか。

市長 交通量が当初計画より大幅に減じ、採算見込みも厳しい状況で、その運営に注視。市民参加の店舗計画となるよう「にぎわい広場」の設置や、地域の熱い思いが凝縮した施設となるよう申し入れており、取組む。

高速バスのバスのストップの設置や駐車場整備も進めている。



いまだに旧町名のもので存在

出しており、申し出者の意向も尊重した。今後、早期に新たな甲賀市の憲章碑が設置出来るよう調整する。また、非核平和都市宣言のように制定年月日や旧町の名称が入っているものは一部を修正する事により、市として引き続き活用出来るものは活用し、活用出来ないものは撤去を基本に、予算の許す範囲で、早期に甲賀市にふさわしい地域発信のシンボルとなるよう取り組む。

林 勝彦 議員

問 合併後三年が経過しようとしているが、土山支所には土山町民憲章のままである。また甲南地先には旧甲南町の非核平和都市宣言の町看板がある。市としてどのように考えているか。

市長 交通量が当初計画より大幅に減じ、採算見込みも厳しい状況で、その運営に注視。市民参加の店舗計画となるよう「にぎわい広場」の設置や、地域の熱い思いが凝縮した施設となるよう申し入れており、取組む。

高速バスのバスのストップの設置や駐車場整備も進めている。

一般質問

問 ①地域で、外猫が増え被害の苦情が多いが。市民環境部長 外猫に絶対エサを与えないようなパン等で啓発している。

問 外猫を減らすのに、市で条例を定め、引き取りを推進してはどうか。部長 県と共に、広域の制度が必要と考える。

一般質問

問 ②公園や市道法面、歩道、植樹柵等の維持管理費が削減され「草ぼうぼうの街や」と苦情がある。除草費を削るな。建設部長 九月議会で一千万円の補正をつけた。市道に隣接する方々にはご協力を願っている。

一般質問

問 ③市営住宅の衛生環境が悪い。畳が古くダニ等の被害がある。古畳は点検して総入れ替えを。建設部長 入居者の申し出により入替への対応をする。

一般質問

問 ④再び水口町八田字「込田」農用地の違反転用について追求した。農振地の除外申請や農業委員会、審査委員会の審査を経ず、頭越しで法務局へ申請など重大な違法行為が起きている。

一般質問

問 クリーンセンター滋賀の安全は、また、保管する一重張りシートに傷が入ったら、直接流れるのではないか。

一般質問

市民環境部長 どの部分から浸透水が入っても、センサーが感知し安全と説明を受けている。

一般質問

問 私は、安全な施設であるとは思っていないがやはり、施設を管理する人柄に安全性は、左右されるのではないか。

一般質問

部長 ハード面での安全の確保は当然として、点検、水質管理等、行なっている計画である。

一般質問

問 なぜ下流に、市による二十四時間水質管理発想が出ないのか。部長 施設内の監視が大切であり、下流監視は、必要ないと考える。

一般質問

問 審査委員の話によると当初より600円ありきのストーリーがあったのではと思える点が多かったと聞いているが委員の疑問に対し適確な説明をされたのか。上下水道部長 3回の審議会の中で多数の意見があったが総合的に勘案され600円で取りまとめられたところである。

一般質問

問 大戸川ダム建設と引きかえに位置付けされた信楽の下水道事業に係る下流交付金は当然受益者に還元されるべきと考えられるが。部長 市内他の4町においても同様の琵琶湖総合開発促進交付金を一般財源として受けており受益者負担金を軽減することはなかった。今回も下流分は下水事業費に組み入れて

一般質問

問 ダム事業者や県に対しダム上流自治体が不利益を被ることがないよう負担金の軽減策を強く要請されたい！

一般質問

市長 国交省を始め県や関係機関に対し水特法による下流交付金を引き続き強く要望していきたい。負担金の平準化については近い将来統一する必要があると考えている。

一般質問

問 関係機関に要望続ける

一般質問

中西弥兵衛 議員

一般質問

問 受益者負担金の軽減策を

一般質問

岩田孝之 議員

一般質問

問 総務省によると七月に行われた、参議院議員選挙における期日前投票は、国政選挙では始めて一千万人を超え全有権者の10・33%になった事が公表された。

一般質問

甲賀市においても投票総数4万8,396人の15・7%に当たる7,630人となっており、実に6・4人に1人が期日前投票を行っている。

一般質問

しかし、公示翌日から期日前投票のために各支所へ出かけた人が多くあり市民から苦情を聞いた。本所、支所の期日前

一般質問

投票期間は何故違ったのか、誰が決めたのか選挙管理委員会に問う。

一般質問

選挙管理委員会事務局長

一般質問

期日前投票所は市町村に1箇所以上設置することになっており、2箇所以上か否か、その期間は選挙管理委員会が指定することになっている。期間の長い、知事、参議院選挙については、選挙の期日8日のみの開設としている。

一般質問

期間を短縮している理由は、実態として前半の週は利用者が少ないことから事務効率を勘案しての対応であり、市民感覚とかげ離れた対応とは考えておりません。

一般質問

みんなそろって、投票参加!

一般質問

投票期間は何故違ったのか、誰が決めたのか選挙管理委員会に問う。

一般質問

選挙管理委員会事務局長

一般質問

期日前投票所は市町村に1箇所以上設置することになっており、2箇所以上か否か、その期間は選挙管理委員会が指定することになっている。期間の長い、知事、参議院選挙については、選挙の期日8日のみの開設としている。

一般質問

期間を短縮している理由は、実態として前半の週は利用者が少ないことから事務効率を勘案しての対応であり、市民感覚とかげ離れた対応とは考えておりません。

一般質問

みんなそろって、投票参加!

一般質問

投票期間は何故違ったのか、誰が決めたのか選挙管理委員会に問う。

一般質問

選挙管理委員会事務局長

一般質問

期日前投票所は市町村に1箇所以上設置することになっており、2箇所以上か否か、その期間は選挙管理委員会が指定することになっている。期間の長い、知事、参議院選挙については、選挙の期日8日のみの開設としている。

一般質問

期間を短縮している理由は、実態として前半の週は利用者が少ないことから事務効率を勘案しての対応であり、市民感覚とかげ離れた対応とは考えておりません。

一般質問

みんなそろって、投票参加!

一般質問

投票期間は何故違ったのか、誰が決めたのか選挙管理委員会に問う。

一般質問

選挙管理委員会事務局長

一般質問

期日前投票所は市町村に1箇所以上設置することになっており、2箇所以上か否か、その期間は選挙管理委員会が指定することになっている。期間の長い、知事、参議院選挙については、選挙の期日8日のみの開設としている。

一般質問

期間を短縮している理由は、実態として前半の週は利用者が少ないことから事務効率を勘案しての対応であり、市民感覚とかげ離れた対応とは考えておりません。

一般質問

みんなそろって、投票参加!

一般質問

投票期間は何故違ったのか、誰が決めたのか選挙管理委員会に問う。

一般質問

選挙管理委員会事務局長

一般質問

期日前投票所は市町村に1箇所以上設置することになっており、2箇所以上か否か、その期間は選挙管理委員会が指定することになっている。期間の長い、知事、参議院選挙については、選挙の期日8日のみの開設としている。

一般質問

期間を短縮している理由は、実態として前半の週は利用者が少ないことから事務効率を勘案しての対応であり、市民感覚とかげ離れた対応とは考えておりません。

一般質問

みんなそろって、投票参加!

一般質問

投票期間は何故違ったのか、誰が決めたのか選挙管理委員会に問う。

一般質問

選挙管理委員会事務局長

一般質問

期日前投票所は市町村に1箇所以上設置することになっており、2箇所以上か否か、その期間は選挙管理委員会が指定することになっている。期間の長い、知事、参議院選挙については、選挙の期日8日のみの開設としている。

一般質問

期間を短縮している理由は、実態として前半の週は利用者が少ないことから事務効率を勘案しての対応であり、市民感覚とかげ離れた対応とは考えておりません。

一般質問

みんなそろって、投票参加!

一般質問

Q 甲南駅周辺整備は

A 21年度着手に向け取り組む

木村泰男 議員

問 一昨年12月議会、市長は「甲南駅周辺整備は平成21年度をひとつの目標にして事業着手したい」と答弁された。事業着手に向けた取り組み状況は。

市長 膨大な工費と長期間を要する事業。税財源の改革の中、県と協議しつつ、法的な整備も含め平成21年度事業着手を目標に掲げ取り組む。



線の用地測量の現状は。建設部長 民境界の測量は昨年度終了。本年度は官民境界の確定作業に取り組んでいるが、公図混乱などで遅れている。問 今年度着手予定であった駅前広場の用地測量はどうなる。建設部長 12月補正予算で対応したい。問 平成21年度事業着手には、来年度より用地買収の開始が必要。そのめどは立つのか。建設部長 財政難の折当初予定より遅れているが、用地買収を含め補助事業の採択をもって事業着手としたい。用地買収、既存建物の移転等、補助事業の期限内施行同意が必要。今一度、地元委員会を通じ、地権者を交えた整備に向けた検討をお願いしたい。

福西義幸 議員

Q 水口「岡山城」の復元策は

A 夢のある古城山ルネッサンス

問 「城山の栄枯廻り」と歌われた(旧)水口中校歌、歴史の流れを持つ我がまちも、合併三年目の今、市民が心を一つにして燃えることのできる事業企画それは「普請」です。悲運の戦国武将、長束正家の「水口城」を現世の市民の手で「出世城」として復元する。市長の策は…。

市長 水口岡山城は戦国時代、豊臣秀吉が家臣の中村一氏に築かせた城。当時、山頂部に西の丸、本丸、天守、二の丸があり、縄張りも東西約500メートル、南北約150メートルに及んでおり、現在城跡は約30ヘクタールあり、ほとんどが市有地、今年度中にコンピュータグラフィックスによる復元を行い、視覚を通して市民への理



復元したい水口岡山城(イメージ)

Q 北泉からの新設道路計画は

A 詳細設計業務を進めている

伴 資男 議員

問 北泉からの新設道路計画の進捗及び今後の取り組みを問う

建設部長 新設道路の法線と民間開発の区域は建築物等施設配置を道路計画に配慮。対象区域の地域や地権者への説明会を行い詳細設計業務を進めている。問 豊かな農山村環境の保全と活性化の具体策は。産業経済部長 農業基盤の整備を行い、中山間地



予定されている北泉地先

域等直接支払制度や農地・水・環境保全向上対策により農業生産活動を支援し優良農地の保全を行う。集落営農の組織化を推進し、特定農業団体の法人化を支援。組織化が進まない集落は、中核農家や認定農業者の育成に努める。担い手の経営力強化は、各種研修会の開催や農地集積を推進し、土地利用の調整を図っている。問 自然環境の保全と共生の具体策は。市民環境部長 良好な環境の保全、環境への負荷が少ない都市づくりの推進を行うため、事業者との間で環境保全協定を締結している。協定は、環境汚染防止や地球温暖化等防止対策、省資源対策の推進等、環境負荷の軽減に向けた取組み内容となっている。

特別委員会などの動き

交通対策特別委員会

事前予約制のバスが10月1日から走行中

貴生川駅とサントピア方面(子どもの森、スポーツの森)間を、事前予約がある場合のみ運行するデマンドバス(需要・求めるの意)の導入など、より便利で効率化を図るために10月からダイヤ改正が行なわれています。

主な改正点は… ①事前予約制コミュニティバスの運行 ②はーとバス八田ルートの通学時間帯のダイヤ改善。 ③乗車率の低い時間帯(土・日・祝)のダイヤの見直し。 ④重複区間の整理。はー

とバスの重複区間(相木ルート)の整理統合。 ⑤ハローバス(甲南)における試験的に小型車両(ワゴン車両)の導入。 ⑥湖南市在住の通学生(水口高校・東高校)などに対し連携ルート料金を設ける。



利用が増えるコミュニティバス

病院組合

救急医療体制の充実に向け

9月27日、行政組合消防本部において第2回定例会が開催されました。その主な審議の結果を報告します。平成18年度公立甲賀病院事業会計決算の認定については質疑・採択の結果、全員賛成で認定しました。

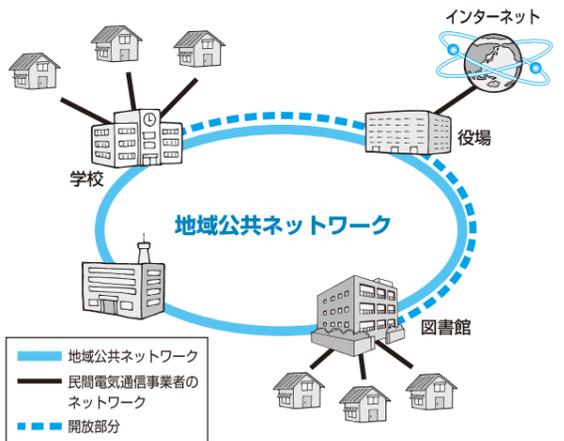
たとのことで、全国的に医師不足が問われる中、病院として地域住民に安心・安全な医療が提供できるよう努力するのとこととでありました。一般質問でも、医師確保対策について、医師数の実態及び医師の過重勤務はないか等の確認がされました。

地域情報化推進特別委員会

地域情報通信基盤の検討

市民の誰もが等しく、いつでもどこでも情報の受発信ができるには、地域情報基盤が重要です。情報格差の解消、緊急情報の提供、行政情報や地域情報の提供、地上デジタルテレビ放送の対応、難視聴の解消、ブロードバンドの環境整備など、多種多様なサービスの提供ができる施設整備

について検討しています。また、民間活用を基本姿勢とすることから、甲賀ケーブルネットワーク、甲賀郡有線放送、信楽町有線放送からのご意見や、考えを聞き参考にしながら特別委員会として、審議し地域情報化の推進に向けて、課題に調査研究をすすめていきます。



審議の中で、新病院移転事業用地調査費、380万円の内容と、現況についての質疑があり管理者より、病院用地候補地の調査との説明があり、現在地から半径5km圏内で、整備検討会において検討中であるとの回答でした。報告で、現在産婦人科常勤医師の1名減と、さらに小児科常勤医師3名から1名減となり、京大医学部小児科より非常勤医師が確保でき

また、周産期救急医療体制(近隣市との連携システム)の現況と今後さらに緊急ヘリ輸送への対応についての問いでは、県内医療圏内での対応の中で、大津日赤、長浜、近江八幡等との連携は可能であるとのことでした。地域医療機関としてさらなる綿密な連携システムづくりが望まれます。

くろぎこうか

Vol.8

甲南 里山散策

深まりゆく秋の一日、甲賀の里山をぬうように
 続く東海自然歩道甲南ルートを歩いてみません
 か。紅葉に彩られた里山、静かに迎え入れてくれ
 る由緒ある寺社や里村。甲賀忍者を生んだ自然を
 堪能できるはずです。

無従谷の里山

甲南町野川の伊勢廻寺
 をスタートしましょう。
 ここから磯尾までは、雑
 木林の低い尾根と奥深く
 枝分かれた水田の谷を
 ぬって進む里道が続いま
 す。この地形、どこにで
 もあるようですが、実は



甲賀の無従谷 (左上甲賀駅付近)

空から見ると右の航空写
 真のように見える無従谷
 というめずらしい地形
 なのです。これは三百万
 年前、甲賀から伊賀にか
 けて広がっていた甲賀湖
 (古琵琶湖)に堆積した

柔らかい地層を、柚
 川の支流が陣取り合
 戦のように侵食して
 生み出した地形なの
 です。

さて、里道に戻り
 ましょう。近代的な
 フロンティアパーク
 を木陰に見つつ進むと、
 かつて甲賀と伊賀を結ぶ
 主要道であった伊賀街
 道へと出ます。街道を
 離れると、美しい庭園
 を持つ明王寺がありま
 す。整備された休憩所
 で一休み…。

里道から山道へ

磯尾の集落を過ぎる
 と無従谷の里道は信楽
 山地へと続く山道。林
 道を行くと静かなたた
 ずまいの昭和池のほと
 りへ。ここから間伐材

で整備された470段の
 階段を登りきると、甲賀
 市から湖東平野までが一
 望できる展望台。
 ほっと一息…。



展望台より甲賀市を望む

美しい檜林を下ると大
 沢池の堤に出ます。

東海自然歩道甲南ルートを歩く

二つの大池と岩尾山

自然歩道から外れ、
 大沢池に沿って飯道
 山と並ぶ山伏の修験
 場岩尾山へ。山道を登
 り中腹の息障寺まで
 約30分。山中をめぐる
 修験道と巨岩に刻ま
 れた磨崖仏は、三年前
 の山腹崩落で工事終
 了(来年)まで入山禁
 止。それでも山城は山
 伏と忍者を重ねみる

ことができます。

自然歩道は大沢池から
 岩尾池へ、対岸には市営
 のキャンプ場があり、夏
 は多くのキャンパーで賑
 わいます。

信楽へ

岩尾池の堤を下ると杉
 谷新田。岩尾山を散策す
 るならここからハローバ
 ス(土日祭日運休!)で
 甲南駅へ。健脚は、信楽
 高原鐵道紫香樂宮跡駅ま
 で約6km、二時間の林道
 に向かいます。伊勢
 廻寺から紫香樂宮跡駅ま
 で約14km、ほぼ1日の
 ハイキングコース、ぜひ
 チャレンジしてみてください
 さい!



修験道には多くの石仏が

編集後記

▶楽しくご愛読頂けていますか?「議会だより」は本号をもって今メンバー(写真)での広報委員の任務が終了。有難うございました。親しみ易い紙面作りをモットーに、研修に出かけたり、講師を招いての勉強会などを行ない、読みやすさに努力してきました。市内の話題、市民のご提言なども企画し、議員の一般質問はQ&A方式に工夫しました。わずか二段の紙面では質問と答弁の意図が充分伝わらないのではないかと。今後の課題です。一つ自信が持てることは、広報委員全員が協力し、皆の力で取材・編集・校正を手がけ広報づくりが出来ようになった

ことです。今後も皆様のご支援をお願いします。

終りに、去る7月31日、四万十川の水難事故で亡くなられた信楽の小学生美馬沙紀さん、藤田真衣さんのご冥福を広報委員一同心からお祈りしご遺族様にお悔み申しあげます。

地球より重い尊い命を大切にすること。苦しい時に手が差しのべられる「あいこうか」の福祉の心を膨ませ、住みよい甲賀市をめざします。

今後とも「議会だより」をご愛読下さい。
 (広報委員 小松正人)

広報特別委員



- (後列右から) 小松正人
- 木村泰男
- 野田卓治
- 山岡光広
- 藤井克宏
- (前列右から) 小松正人
- 委員長 河合定郎
- 副委員長 松本昌市